

# 令和6年度 財政状況資料集

## 総括表（市町村）

都道府県名	千葉県		市町村類型	V-2	指定団体等の指定状況		区分		令和6年度(千円)		令和5年度(千円)		区分		令和6年度(千円・%)		令和5年度(千円・%)													
					財政健全化等	×	歳入総額	8,699,821	8,445,981	実質収支比率	3.8	5.8																		
市町村名	栄町		地方交付税種地	2-4	財源超過	×	歳出総額	8,493,271	8,154,259	経常収支比率	97.8	96.3																		
					首都	○	歳入歳出差引	206,550	291,722	(注1)	(98.2)	(97.1)																		
					近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	15,578	6,236	標準財政規模	5,022,626	4,942,978																		
人口	令和2年国調(人)	20,127	産業構造(※5)		中部	×	実質収支	190,972	285,486	財政力指数	0.50	0.51																		
	平成27年国調(人)	21,228			単年度収支	-94,514	7,507	公債費負担比率	11.7	12.8																				
	増減率(%)	-5.2			過疎	×	積立金	369,819	354,820	健全化判断比率																				
住民基本台帳人口(※7)	令和07.01.01(人)	19,624	第1次	低開発	×	繰上償還金	0	0	実質赤字比率	-	-																			
	うち日本人(人)	19,144		指数表選定	○	積立金取崩し額	400,000	373,214	連結実質赤字比率	-	-																			
	令和06.01.01(人)	19,842	第2次	基礎財政収入額		基礎財政需要額	標準税収入額等	経常経費充当一般財源等	歳入一般財源等	2,210,568	2,218,935	資金不足比率(※4)																		
	うち日本人(人)	19,418													第3次	1,640	1,876	7,182	7,868	78.0	77.3	4,467,195	4,361,371	2,747,279	2,759,219	5,007,759	4,796,392	6,569,483	6,310,683	
	増減率(%)	-1.1	第3次												7.182	7.868														
	うち日本人(%)	-1.4	第3次												7.182	7.868														
	面積(km <sup>2</sup> )	32.51																												
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	619																													
世帯数(世帯)	8,276																													
職員の状況(※8)																														
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	5,656,462	6,132,443	うち公的資金	5,029,237	5,548,599																
	市区町村長	1	7,200		一般職員	206	659,612	3,202	地方債現在高(臨時財政対策債除き)	2,506,014	2,649,185																			
	副市区町村長	1	6,000		うち消防職員	45	137,790	3,062	債務負担行為額(支出予定額)	800,415	1,107,781																			
	教育長	1	5,900		うち技能労務職員	-	-	-	収益事業収入	-	-																			
	議会議長	1	3,500		教育公務員	-	-	-	土地開発基金現在高	97,138	97,138																			
	議会副議長	1	2,850		臨時職員	-	-	-	積立金	1,107,372	1,137,553																			
	議会議員	12	2,650		合計	206	659,612	3,202	減債基金	146,199	112,079																			
					ラスパイレシ指数				98.2	その他特定目的基金	1,414,698	1,565,666																		
	一般会計等の一覧																													
	項番	会計名	事業会計の一覧			公営企業(法適)の一覧			公営企業(法非適)の一覧			関係する一部事務組合等一覧			地方公社・第三セクター等一覧															
(1) 一般会計		(2) 国民健康保険特別会計	(3) 介護保険特別会計	(4) 後期高齢者医療特別会計	(5) 栄町下水道事業会計			(6) 千葉県市町村総合事務組合(一般会計)	(7) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治会館管理運営特別会計)	(8) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治研修センター特別会計)	(9) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県市町村交通災害共済特別会計)	(10) 千葉県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	(11) 千葉県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	(12) 印旛広域市町村圏事務組合(一般会計)	(13) 印旛広域市町村圏事務組合(水道用水供給事業)	(14) 印旛地区環境整備事業組合(一般会計)(ごみ処理)次期分	(15) 印旛地区環境整備事業組合(一般会計)(ごみ処理)次期分除く													

(注釈) ※1: 経常収支比率の( )内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。  
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。  
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。  
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。  
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。  
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(\*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。  
 ※7: 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※8: 職員の状況については、調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

(1) 普通会計の状況 (市町村)

歳入の状況 (単位 千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比
地方税	2,138,773	24.6	2,008,722	39.4
地方譲与税	100,956	1.2	100,956	2.0
利子割交付金	1,352	0.0	1,352	0.0
配当割交付金	22,676	0.3	22,676	0.4
株式等譲渡所得割交付金	33,834	0.4	33,834	0.7
分離課税所得割交付金	-	-	-	-
地方消費税交付金	468,040	5.4	468,040	9.2
ゴルフ場利用税交付金	22,882	0.3	22,882	0.4
自動車取得税交付金	-	-	-	-
軽油引取税交付金	-	-	-	-
自動車税環境性能割交付金	20,155	0.2	20,155	0.4
法人事業税交付金	30,697	0.4	30,697	0.6
地方特例交付金等	103,412	1.2	103,412	2.0
住宅借入金等特別税額控除減収補填特例交付金	14,642	0.2	14,642	0.3
定額減税減収補填特例交付金	87,484	1.0	87,484	1.7
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特例交付金	1,286	0.0	1,286	0.0
地方交付税	2,385,071	27.4	2,256,627	44.3
普通交付税	2,256,627	25.9	2,256,627	44.3
特別交付税	128,225	1.5	-	-
震災復興特別交付税	219	0.0	-	-
(一般財源計)	5,327,848	61.2	5,069,353	99.4
交通安全対策特別交付金	1,977	0.0	1,977	0.0
分担金・負担金	79,614	0.9	505	0.0
使用料	25,284	0.3	11,856	0.2
手数料	41,714	0.5	173	0.0
国庫支出金	1,231,659	14.2	-	-
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-
都道府県支出金	568,148	6.5	-	-
財産収入	21,774	0.3	14,617	0.3
寄附金	79,041	0.9	-	-
繰入金	638,323	7.3	-	-
繰越金	291,722	3.4	-	-
諸収入	121,297	1.4	1,192	0.0
地方債	271,420	3.1	-	-
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-
うち臨時財政対策債	18,720	0.2	-	-
歳入合計	8,699,821	100.0	5,099,673	100.0

地方税の状況 (単位 千円・%)				
区分	収入総額	構成比	超過課税分	
普通税	2,008,722	93.9	-	-
法定普通税	2,008,722	93.9	-	-
市町村民税	962,893	45.0	-	-
個人均等割	32,294	1.5	-	-
所得割	850,064	39.7	-	-
法人均等割	39,148	1.8	-	-
法人税割	41,387	1.9	-	-
固定資産税	873,713	40.9	-	-
うち純固定資産税	873,683	40.8	-	-
軽自動車税	65,446	3.1	-	-
市町村たばこ税	106,670	5.0	-	-
鉱産税	-	-	-	-
特別土地保有税	-	-	-	-
法定外普通税	-	-	-	-
目的税	130,051	6.1	-	-
法定目的税	130,051	6.1	-	-
入湯税	-	-	-	-
事業所税	-	-	-	-
都市計画税	130,051	6.1	-	-
水利地益税等	-	-	-	-
法定外目的税	-	-	-	-
旧法による税	-	-	-	-
合計	2,138,773	100.0	-	-

区分	令和6年度		令和5年度	
徴収率(%)	98.7	94.0	98.7	93.9
現計	98.7	94.2	98.7	94.2
年計	98.7	93.3	98.7	92.9

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	951,855	実質収支	6,296
下水道	102,863	再差引収支	6,296
上水道	9,612	加入世帯数(世帯)	3,177
工業用水道	-	被保険者数(人)	4,591
交通	-	被保険者	93
国民健康保険	206,576	保険税(料)収入額	-
その他	632,804	1人当り	425
		国庫支出金	-
		保険給付費	-

歳出の状況 (単位 千円・%)					
目的別歳出の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	104,197	1.2	-	-	104,197
総務費	1,781,057	21.0	63,853	-	1,459,700
民生費	2,959,605	34.8	-	-	1,709,670
衛生費	636,055	7.5	3,105	-	541,850
労働費	-	-	-	-	-
農林水産業費	153,359	1.8	23,034	-	108,383
商工費	130,171	1.5	835	-	88,284
土木費	526,480	6.2	157,877	-	391,145
消防費	560,785	6.6	66,016	-	487,529
教育費	873,108	10.3	87,320	-	703,721
災害復旧費	-	-	-	-	-
公債費	768,454	9.0	-	-	768,454
諸支出金	-	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
歳出合計	8,493,271	100.0	402,040	-	6,362,933

性質別歳出の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	4,618,667	54.4	3,475,081	3,117,948	60.9
人件費	2,062,288	24.3	1,958,528	1,917,565	37.5
うち職員給	1,284,399	15.1	1,220,506	-	-
扶助費	1,787,925	21.1	748,099	431,929	8.4
公債費	768,454	9.0	768,454	768,454	15.0
元利償還金	768,454	9.0	768,454	768,454	15.0
うち元金	747,401	8.8	747,401	747,401	14.6
うち利子	21,053	0.2	21,053	21,053	0.4
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	3,472,564	40.9	2,787,464	1,889,811	36.9
物件費	1,309,342	15.4	992,879	787,568	15.4
維持補修費	31,372	0.4	31,372	19,730	0.4
補助費等	783,832	9.2	644,870	410,691	8.0
うち一部事務組合負担金	247,758	2.9	217,458	192,586	3.8
繰出金	839,380	9.9	701,022	671,822	13.1
積立金	491,294	5.8	417,077	-	-
投資・出資金・貸付金	17,344	0.2	244	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	402,040	4.7	100,388	-	-
うち人件費	23,208	0.3	23,208	-	-
普通建設事業費	402,040	4.7	100,388	-	-
うち補助	105,169	1.2	26,677	-	-
うち単独	268,852	3.2	63,089	-	-
災害復旧事業費	-	-	-	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	8,493,271	100.0	6,362,933	-	-

(注釈)  
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、  
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	8,700	8,493	207	191	638	5,656	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297							
298							

### (3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

令和6年度

千葉県栄町

人口	19,624	人(R7.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	19,144	人(R7.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	32.51	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	5.9	%
歳入総額	8,699,821	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	8,483,271	千円	市町村類型	R02 V-2 R03 V-2 R04 V-2	
実質収支	190,972	千円	(年度毎)	R05 V-2 R06 V-2	
標準財政規模	5,022,626	千円			
地方債現在高	5,656,462	千円			



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。  
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。  
 ※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。  
 ※「定員管理の状況」の「人口1,000人当たり職員数」の算出に用いる職員数及び「給与水準(国との比較)」の「ラスパイルズ指数」については、各調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

#### 財政力

類似団体内順位 74/99 全国平均 0.49 千葉県平均 0.69

##### 財政力指数の分析欄

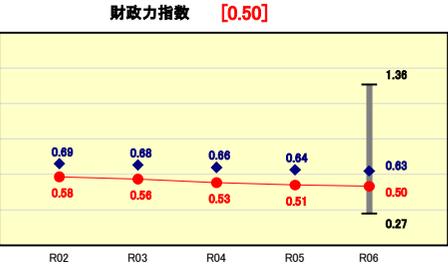
財政力指数は、地方消費税交付金などの減少により基準財政収入額が減少しており、高齢者人口の増加による高齢者保健福祉費や包括算定経費の増加による基準財政需要額においては増加していることから、財政力指数は前年度から0.01ポイント減少している。  
 近年、生産年齢人口減少による住民税の減、地価下落による固定資産税減など町税が減収傾向にあり、引き続き厳しい財政運営が見込まれることから、税源のかん養に努め町税等の安定確保に努める。

#### 将来負担の状況

類似団体内順位 1/99 全国平均 6.2 千葉県平均 25.2

##### 将来負担比率の分析欄

将来負担比率は令和3年度以降算定されていない。これは財政調整基金をはじめとした各基金への積極的に積み立てたことによる充当可能基金の増加、償還額以上の借入抑制方針による地方債残高の削減が理由に挙げられる。  
 しかしながら、今後は人口急増時に整備したインフラ更新や施設の長寿命化対策などが見込まれることから、償還額以上の借入抑制方針を堅持しつつ、地方債残高の削減や基金積立の増加に努めるなど、将来世代への負担削減に努める。

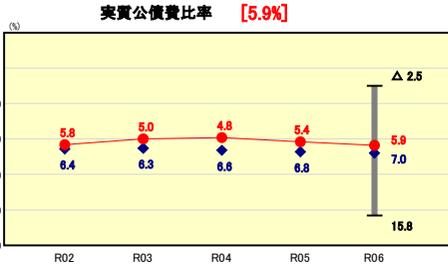


#### 公債費負担の状況

類似団体内順位 39/99 全国平均 5.6 千葉県平均 5.9

##### 実質公債費比率の分析欄

実質公債費比率は、分子となる元利償還金が大型の臨時財政対策債の償還完了により減少となっているものの、控除する算入公債費も償還完了等により減少していることから実質公債費比率は増加している。  
 今後は臨時財政対策債償還のほか、インフラ更新や施設の長寿命化対策、一部事務組合の施設更新などが見込まれることから、償還額以上の借入抑制方針を堅持しつつ、交付税措置のある地方債の活用にも努め、将来世代への負担削減に努める。



#### 財政構造の弾力性

類似団体内順位 91/99 全国平均 93.8 千葉県平均 94.1

##### 経常収支比率の分析欄

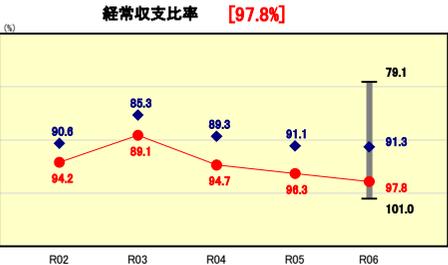
経常収支比率は、令和3年度において普通交付税の追加交付や地方消費税交付金の増加など一時的に改善されたものの、令和6年度においては人事委員会勧告に基づく人件費や保育給付などの扶助費の増加など前年度から1.5ポイント増加し、財政の硬直化が進んでいる。  
 平成初期の人口急増に対応するため行った職員採用、インフラ整備など従来から人件費や公債費が他団体と比較して高い状況にあり、歳入において町税の徴収率強化や移住定住施策等による税源のかん養など時代の変化に対応できるよう持続可能な財政運営を目指す。

#### 定員管理の状況

類似団体内順位 95/99 全国平均 8.41 千葉県平均 7.56

##### 人口1,000人当たり職員数の分析欄

平成初期の人口急増に伴う行政需要の増大に対応するため、多くの職員採用をしたが、近年は人口減少に伴い、退職者の一部補充にとどめるなど、職員数の削減に努めている。  
 しかしながら多様な行政サービスの対応に伴う会計年度任用職員の採用など職員数の減少には至らず、大きな変動が見られない状況にある。今後も行政サービスの質を落とさず、住民サービスや住民満足度の向上のため、ICT等の活用を検討し、職員数の減少に努める。



#### 人件費・物件費等の状況

類似団体内順位 78/99 全国平均 169,281 千葉県平均 147,933

##### 人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

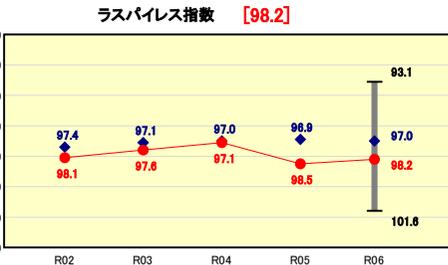
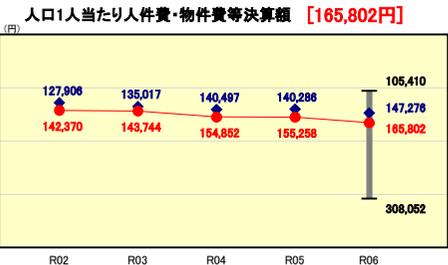
人件費は、平成初期の人口急増時の行政需要に対応する職員採用など、従来から類似団体と比較して高い状況にあり、近年は給与改定や会計年度任用職員制度見直しによって増加傾向にある。  
 また物件費は、類似団体と比較して低い状況にあるものの物価高騰による学校給食費賄材料費など増加傾向にある。  
 今後は定員適正化計画の運用による職員数の抑制など人件費の削減に努めつつ、業務見直しなど歳出の抑制に努める。

#### 給与水準 (国との比較)

類似団体内順位 72/99 全国市平均 98.6 全国町村平均 96.4

##### ラスパイルズ指数の分析欄

ラスパイルズ指数については、昭和50年代後半から平成初期にかけての大量採用した経緯から平均年齢が高い職員構成が影響しており、類似団体よりも高い状況にある。  
 今後も級ごとの職員割合や年齢層を考慮した採用をしつつ、国の動向や県及び他団体の状況も踏まえ、引き続き給与水準の適正化に努める。



# (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和6年度

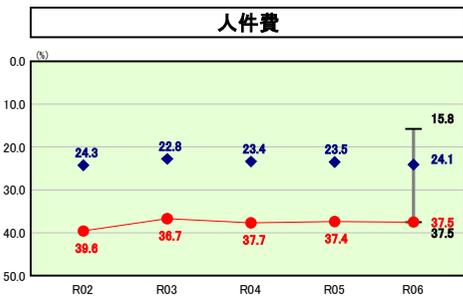
千葉県栄町

## 経常収支比率の分析

人口	19,624	人(R7.1.1現在)	実収赤字比率	-	%
うち日本人	19,144	人(R7.1.1現在)	連結実収赤字比率	-	%
面積	32.51	km <sup>2</sup>	実収公債費比率	5.9	%
歳入総額	8,699,821	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	8,493,271	千円	市町村類型	R02 V-2 R03 V-2 R04 V-2	
実収収支	190,972	千円	(年度毎)	R05 V-2 R06 V-2	
標準財政規模	5,022,626	千円			
地方債現在高	5,656,462	千円			



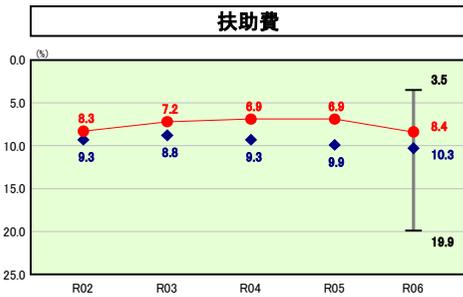
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



類似団体内順位 99/99 全国平均 26.6 千葉県平均 28.1

#### 人件費の分析欄

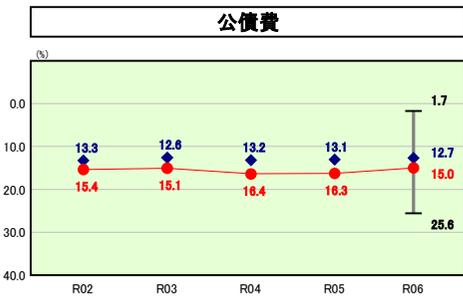
人件費は、平成初期の人口急増時の行政需要に対応する職員採用や、単独市町村での消防本部設置を要因に、従来から類似団体と比較して高い水準に位置している。  
 定員適正化計画に基づき、会計年度任用職員や再任用職員、任期付職員など様々な任用形態を活用しつつ、ICTを活用しながら行政サービスの水準を低下させることなく人件費の抑制に努める。



類似団体内順位 28/99 全国平均 13.4 千葉県平均 13.7

#### 扶助費の分析欄

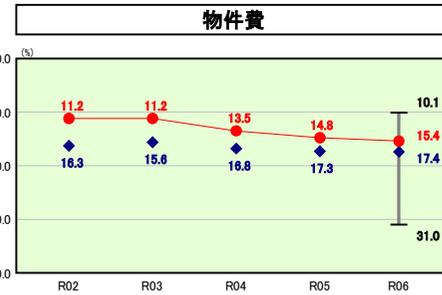
扶助費は障害者介護・訓練等給付費、地域区分見直しによる保険給付により1.5ポイント増加している。今後も、高齢化の進展など扶助費の増加が見込まれることから、社会保障施策の充実を図りながら全体的な傾向や情勢を注視し、的確な情報の把握に努める。



類似団体内順位 80/99 全国平均 15.0 千葉県平均 12.9

#### 公債費の分析欄

公債費は、大型の臨時財政対策債の償還完了により昨年から1.3ポイント減少している。今後は大規模普通建設事業が見込まれていることから、償還額以上の借入抑制を原則としつつ、事業費及び償還の平準化に努める。



類似団体内順位 25/99 全国平均 15.6 千葉県平均 18.8

#### 物件費の分析欄

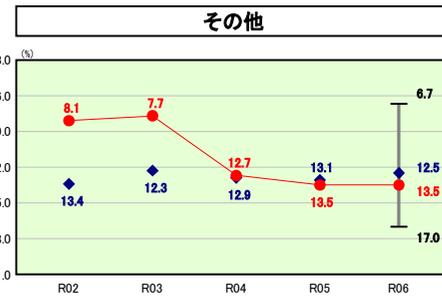
物件費は、各種計画策定など可能な限り職員で対応することで、他団体と比較して低い状況にあるものの、物価高騰による学校給食材料費や保守点検、定期接種化した新型コロナウイルス予防接種など増加傾向にある。今後も物価高騰の影響が見込まれることから業務内容の見直しを図り歳出の抑制に努める。



類似団体内順位 4/99 全国平均 10.7 千葉県平均 8.7

#### 補助費等の分析欄

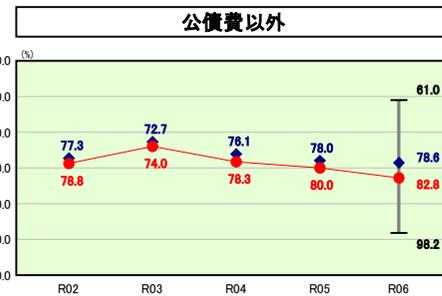
補助費は公営企業会計適用の下水道事業会計への負担金、一部事務組合に対する負担金が増加している。また、今後も原油価格高騰による物価高騰の影響により、一部事務組合の負担金に加えて、町が単独で支出する補助金等も増加が見込まれることから補助金の必要性検討や経費の節減等に努める。



類似団体内順位 70/99 全国平均 12.5 千葉県平均 11.9

#### その他の分析欄

その他の経費は、令和4年度に後期高齢者医療給付費負担金の性質別区分を繰入金に見直したことで上昇している。繰入金においては、介護会計への繰入金が増加しているものの、高齢者人口の増加により後期高齢者医療への医療給付負担金が増加している。維持補修費は施設の老朽化等から修繕が微増傾向にある。



類似団体内順位 78/99 全国平均 78.8 千葉県平均 81.2

#### 公債費以外の分析欄

公債費以外の経常収支比率は、前年度から原油価格高騰の影響により増加している。引き続き、歳出抑制に努めるとともに、歳入において徴収率向上や人口増加対策に取り組み町税等の増加を図り、経常収支比率の抑制に努め、持続可能な財政運営に努める。

# (4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



### 人件費及び人件費に準ずる費用

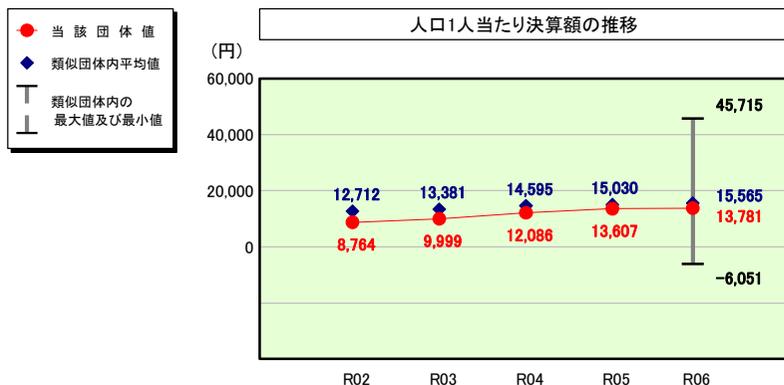
項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	2,062,288	105,090	72,090	45.8
一部事務組合負担金(補助費等)	48,572	2,475	9,072	▲72.7
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	238	12	383	▲96.9
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	26	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	82,544	4,206	2,732	54.0
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	23,208	1,183	1,315	▲10.0
▲退職金	▲172,505	▲8,791	▲4,107	114.0
合計	2,044,345	104,176	81,511	27.8

### 参考

項目	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	10.50	6.74	3.76
ラスパイレス指数	98.2	97.0	1.2

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

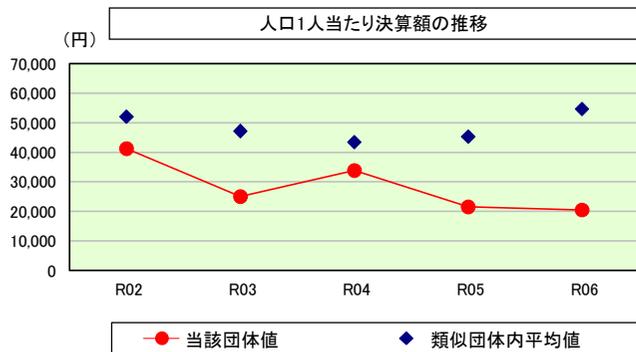
## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析



### 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額(繰上償還額等を除く)	768,454	39,159	33,695	16.2
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの(年度割相当額)	-	-	-	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	100,211	5,107	8,394	▲39.2
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金	18,335	934	1,998	▲53.3
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	6,830	348	1,021	▲65.9
一時借入金利息(同一団体における会計間の現金運用に係る利息は除く)	-	-	3	-
▲特定財源の額	▲94,346	▲4,808	▲3,210	49.8
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲529,046	▲26,959	▲26,336	2.4
合計	270,438	13,781	15,565	▲11.5

## (参考) 普通建設事業費の分析



### 普通建設事業費

年度	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額					
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)	
R02	837,696	41,280	44.8	52,068	1.6	43.2	
	うち単独分	338,249	16,668	▲15.0	26,936	3.4	▲18.4
R03	501,956	24,990	▲39.5	47,161	▲9.4	▲30.1	
	うち単独分	299,159	14,894	▲10.6	24,595	▲8.7	▲1.9
R04	674,775	33,852	35.5	43,423	▲7.9	43.4	
	うち単独分	328,659	16,488	10.7	22,207	▲9.7	20.4
R05	427,162	21,528	▲36.4	45,265	4.2	▲40.6	
	うち単独分	135,808	6,844	▲58.5	22,600	1.8	▲60.3
R06	402,040	20,487	▲4.8	54,621	20.7	▲25.5	
	うち単独分	268,852	13,700	100.2	30,892	36.7	63.5
過去5年間平均	568,726	28,427	▲0.1	48,508	1.8	▲1.9	
	うち単独分	274,145	13,719	5.4	25,446	4.7	0.7

# (5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

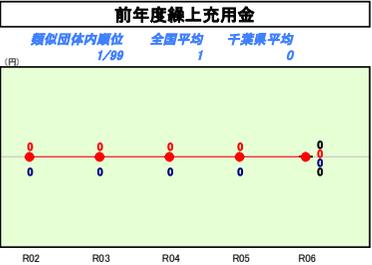
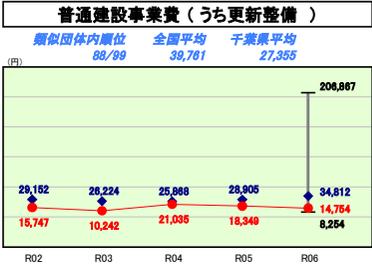
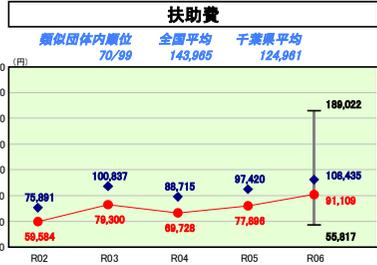
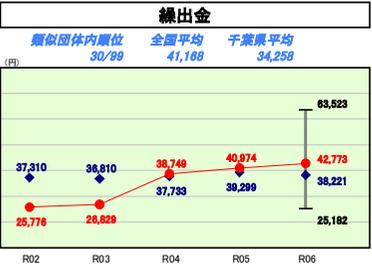
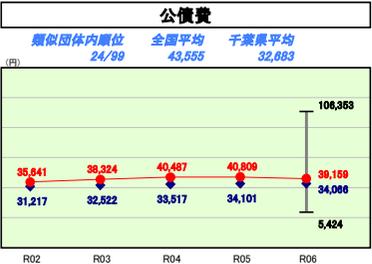
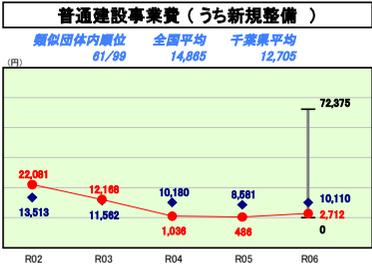
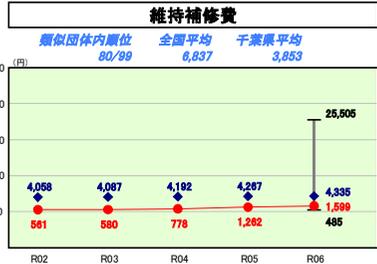
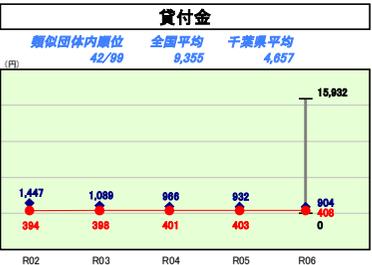
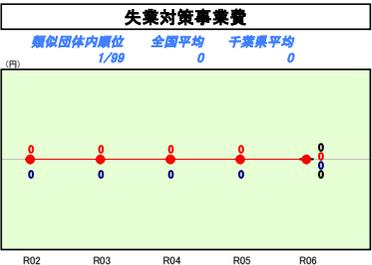
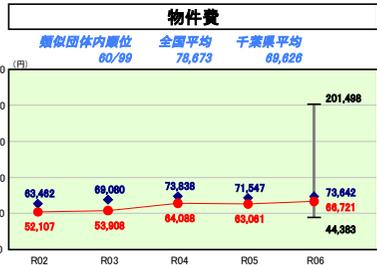
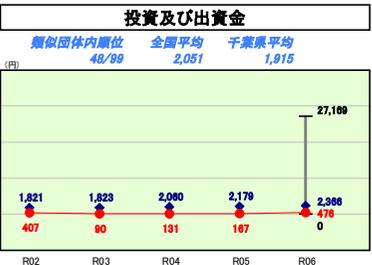
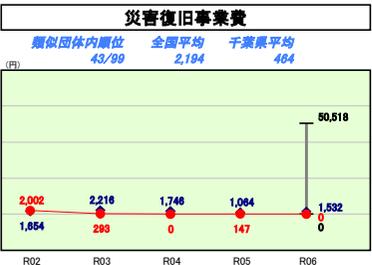
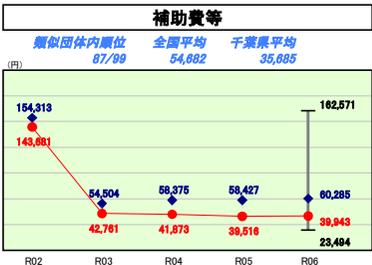
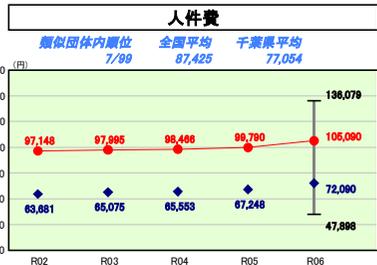
令和6年度

千葉県栄町

人口	19,624人(R7.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	19,144人(R7.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	52.51km <sup>2</sup>	実質公債費比率	5.9	%
入給額	8,699,821千円	将来負担比率	-	%
出給額	8,493,271千円	市町村類型	R02 V-2 R03 V-2 R04 V-2	
実収支	100,972千円	(年度毎)	R05 V-2 R06 V-2	
標準財政規模	5,022,626千円			
地方債現在高	5,656,462千円			

- 当該団体値
- ◆ 類似団体内平均値
- ┌ 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



### 性質別歳出の分析概

人件費は、行政需要に対応するため従来から高水準に位置しており、人事委員会勧告による給与改定、会計年度任用職員への勤動手当支給などにより増加している。物件費は、職員対応により削減に努め低水準に位置しているが、物価高による給食材料費の増加や各種保守点検等増加傾向にある。維持補修費は、給食センターなど施設の老朽化により増加傾向にある。扶助費は、令和3年度以降住民税非課税世帯給付金事業などが額を押し上げているほか、障害者介護・訓練等給付金において1人あたり給付金の増加や保育給付における定価価格の地域区分直しにより増加している。補助費等は、令和2年度定額給付金により一時的に急増しており、以降も一部事務組合の施設整備や地方創生臨時交付金を活用した事業者等への補助金により増加傾向にある。普通建設事業費は、新規整備において防火水槽の新規設置などにより増加しており、更新整備においては小学校グラウンド改修の皆減などにより減少している。災害復旧費は令和元年房総半島台風により令和2年に増加したものの、以降は大雨による被災の修繕等となっている。公債費は令和3年度から臨時財政対策債の償還が増加していたものの、令和6年度からは減少に転じている。積立金は、普通交付税の追加交付により財政調整基金や減債基金積立金が増加しているものの、積立財源となる予算不用額の減少から特定目的積立金が減少している。投資及び出資金は、上水道事業出資金が事業の進捗により増加している。貸付金において近年増減はない。繰出金は、後期高齢者医療広域連合への負担金が令和4年度から見直したことにより増増しており、令和6年度は高齢者人口の増加により増加している。

# (6) 市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

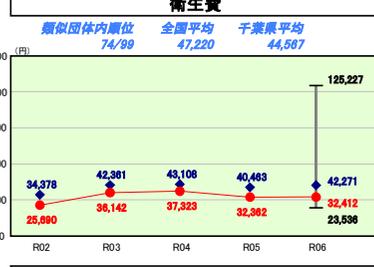
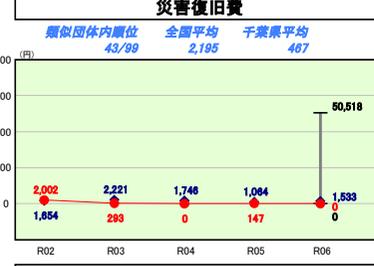
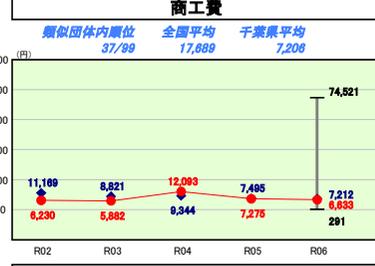
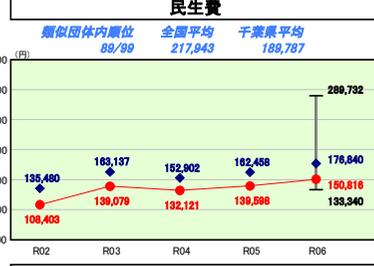
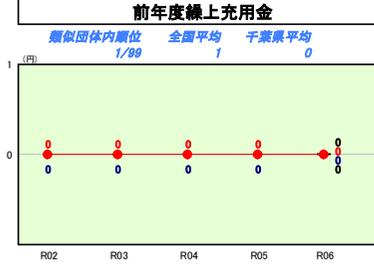
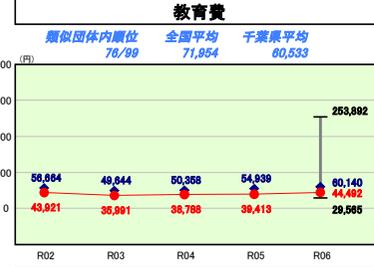
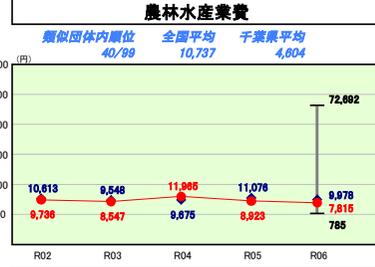
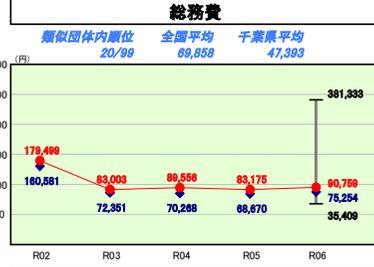
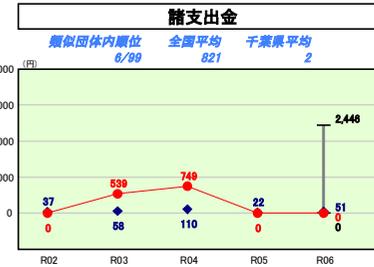
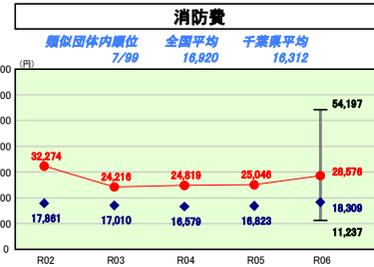
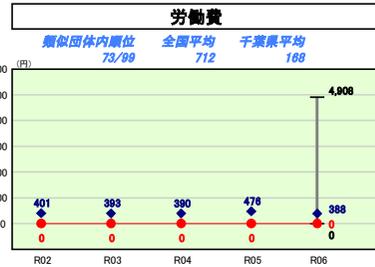
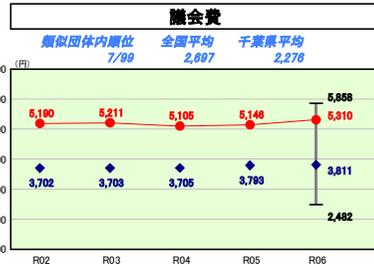
令和6年度

千葉県栄町

人口	19,624人(R7.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	19,144人(R7.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	32.51km <sup>2</sup>	実質公債費比率	6.9	%
農入総額	8,699,821千円	将来負担比率	-	%
農出総額	8,493,271千円	市町村類型	R02 V-2	R03 V-2
実収支	100,972千円	(年度毎)	R06 V-2	R04 V-2
標準財政規模	5,022,626千円			
地方債現在高	5,656,482千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



**目的別歳出の分析概**

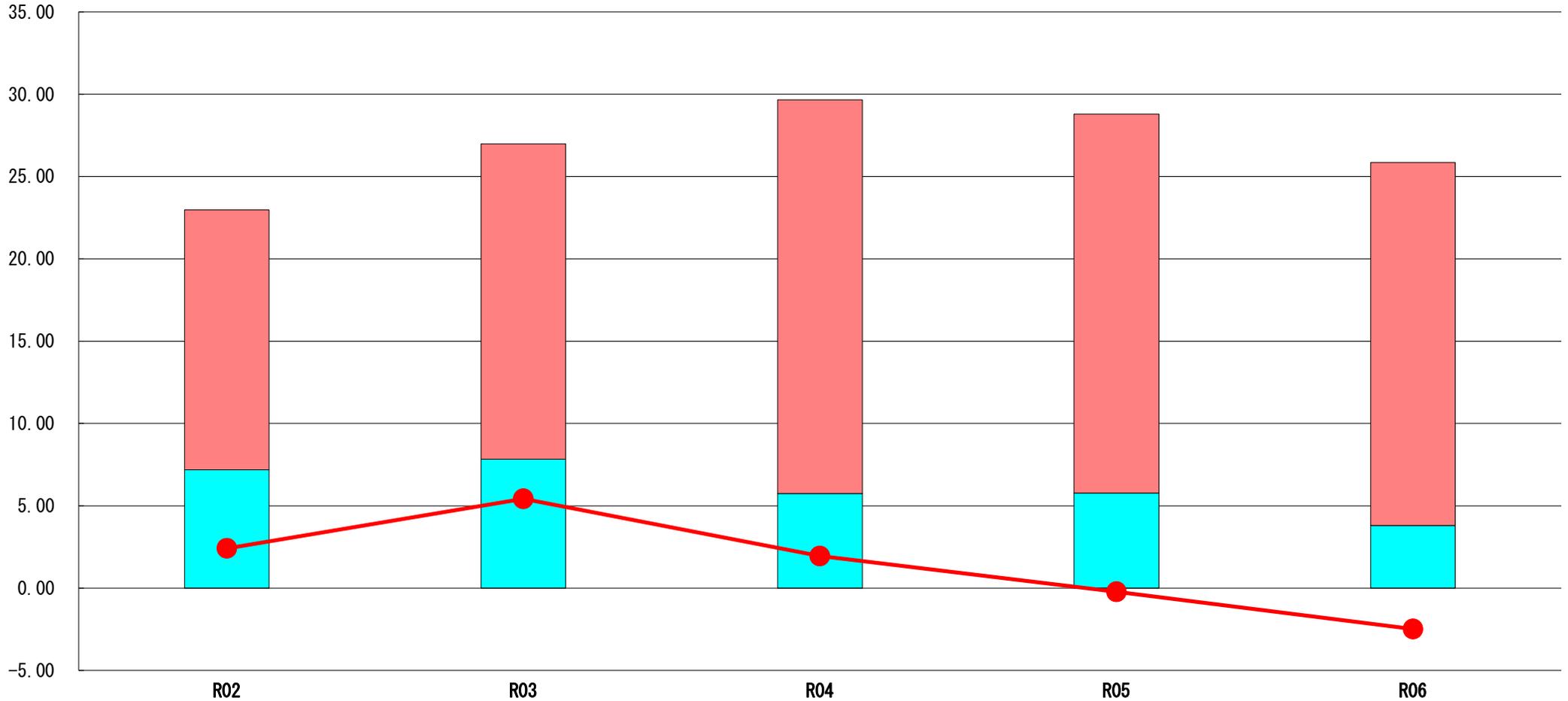
議会費は、議会議員選挙により欠員1名分が補充されたことに伴い増加している。総務費は、普通交付税追加交付による財政調整基金や減債基金積立金増、ふるさと納税の増加によるふるさと応援基金積立金増により増加している。民生費は、令和3年度以降、住民税非課税世帯等臨時特別給付金や定額減税補給給付金などが増加を押し上げているほか、障害者介護訓練等給付費において1人あたり給付費の増加や保育給付における公定価格の地域区分見直しにより増加している。衛生費は、新型コロナウイルス感染症予防接種の公費負担終了により減少しているものの、一部事務組合の施設更新により微増している。農林水産業費は、県営土地改良事業負担金や飼料用米拡大事業補助金により減少している。商工費は物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した事業者経営支援金の終了により減少している。土木費は、用地取得など事業に進行に応じて減少している。消防費は、単独消防を有していることから類似団体と比較して高い水準にあり、共同指令センターや県防炎行政無線機器更新により増加している。教育費は、物価高騰の影響により給食陪材料費など増加傾向にあるほか、施設長寿命化や空調設備設置に向けた事業費が増加している。災害復旧費は令和元年房総半島台風により令和2年に増加したものの、以降は大雨による被災の修繕等となっている。公債費は令和3年度から臨時財政対策債の償還が増加していたものの、令和6年度からは減少に転じている。諸支出金は、令和3、4年度に普通財産用地を購入したことによるもの。

# (7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

令和6年度

千葉県栄町

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	R02	R03	R04	R05	R06
 財政調整基金残高		15.78	19.14	23.92	23.01	22.05
 実質収支額		7.19	7.84	5.75	5.78	3.80
 実質単年度収支		2.42	5.42	1.95	▲ 0.22	▲ 2.48

### 分析欄

財政調整基金は、令和4年度末残高において令和8年度までの第5次総合計画における目標残高10億円を達成しているものの、近年は減少傾向にあることから適正規模とされる標準財政規模の10%~20%を確保するように努めていく。

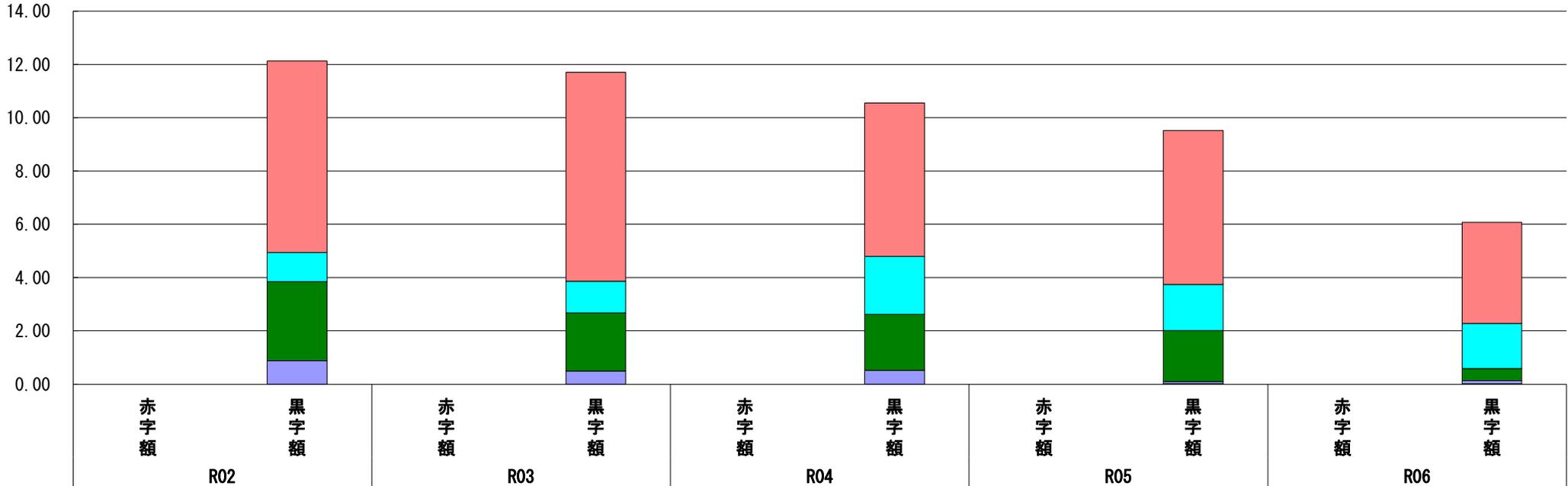
実質収支は、適正規模とされる標準財政規模の3%~5%の範囲内を目標に引き続き黒字を確保するよう財政運営に努める。

# (8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析 (市町村)

令和6年度

千葉県栄町

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

会計	年度	R02	R03	R04	R05	R06
<span style="color: red;">■</span> 一般会計		7.19	7.84	5.75	5.77	3.80
<span style="color: cyan;">■</span> 栄町下水道事業会計		1.09	1.18	2.18	1.73	1.69
<span style="color: green;">■</span> 介護保険特別会計		2.97	2.18	2.10	1.92	0.45
<span style="color: purple;">■</span> 国民健康保険特別会計		0.88	0.50	0.52	0.09	0.12
<span style="color: orange;">■</span> 後期高齢者医療特別会計		0.00	0.00	0.00	0.01	0.02
<span style="color: red;">■</span> その他会計 (赤字)		-	-	-	-	-
<span style="color: blue;">■</span> その他会計 (黒字)		0.00	0.00	0.00	-	-

## 分析欄

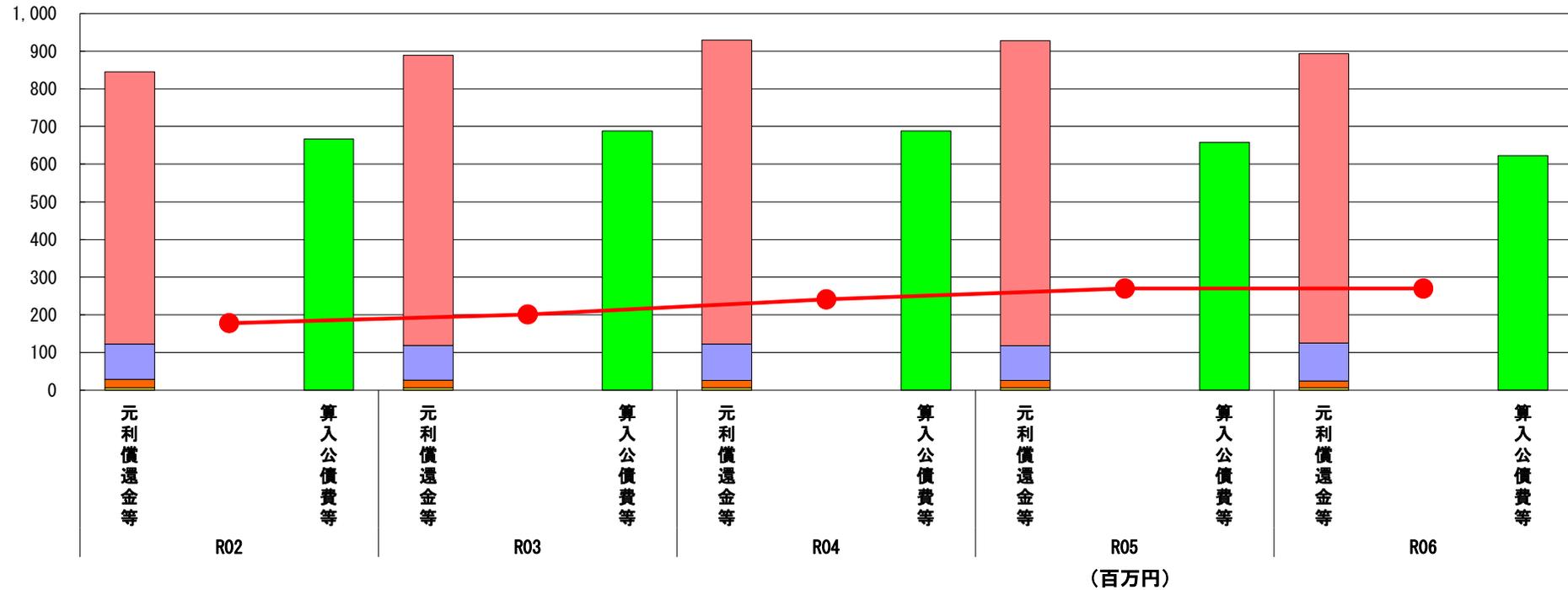
一般会計及び特別会計すべてにおいて過去5年間黒字で推移している。しかしながら、人口減少や高齢化の進展等、今後も引き続き厳しい財政状況が見込まれることから、自主財源を確保するために徴収率向上のほか、税等改定を含め、健全な財政運営に努める。

# (9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和6年度

千葉県栄町

(百万円)



分子の構造		年度	R02	R03	R04	R05	R06
元利償還金等 (A)	元利償還金		723	770	807	810	768
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		93	92	96	92	100
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		22	20	19	19	18
	債務負担行為に基づく支出額		7	7	7	7	7
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		667	688	688	658	623
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		178	201	241	270	270

**分析欄**

実質公債費比率は、大型の臨時財政対策債の償還完了により減少にあるものの、算入公債費等も減少していることから実質公債費比率の分子が同水準を維持している。

今後は臨時財政対策債の償還に加えて、インフラ更新や施設の長寿命化対策、一部事務組合の施設更新などが見込まれることから、交付税措置のある地方債借入に努め、後年度負担軽減のため実質公債費比率分子の減少に努める。

※ 減債基金積立不足算定額=(C) × (1 - (D)/(E))

(参考)

(百万円)

分子の構造		年度	R02	R03	R04	R05	R06
減債基金積立状況等 (注)	満期一括償還地方債に係る実質償還額又は理論償還額のいずれか少ない額 (C)		-	-	-	-	-
	前年度末減債基金残高 (D)		-	-	-	-	-
	前年度末減債基金積立相当額 (E)		-	-	-	-	-

**分析欄**

該当なし

(注) 減債基金のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源に係るもののみを記入。

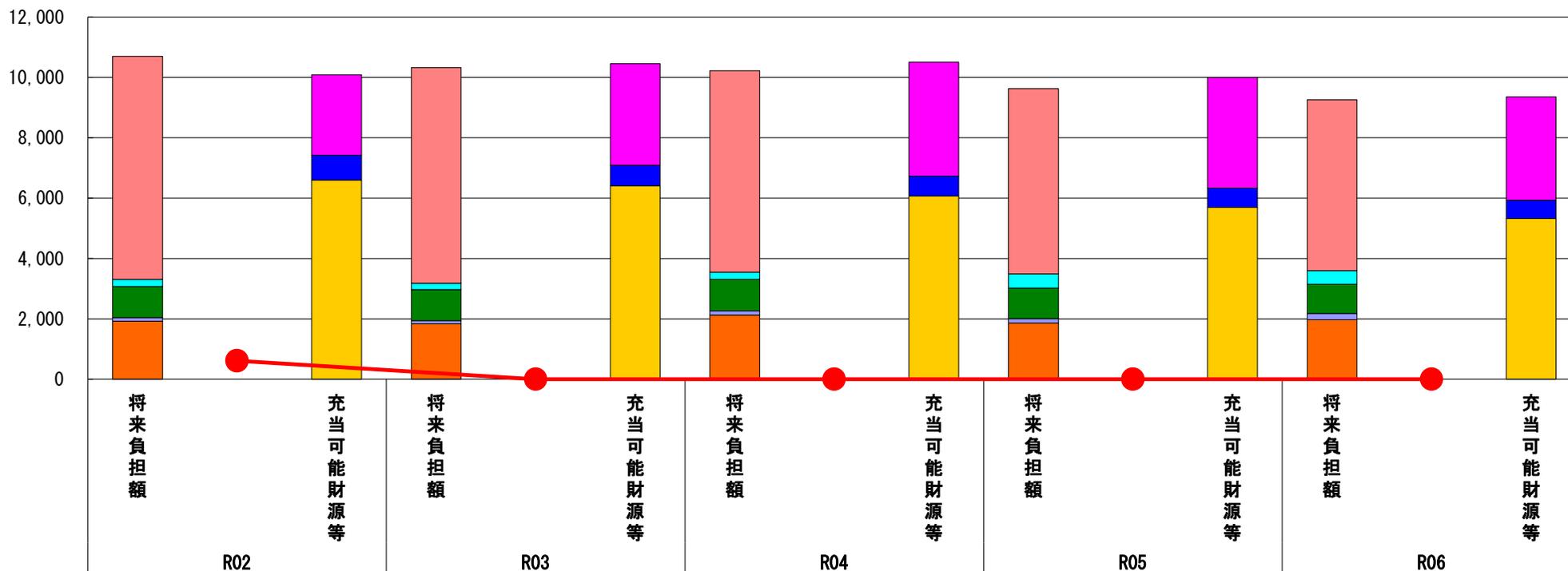
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入

# (10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和6年度

千葉県栄町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	R02	R03	R04	R05	R06
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		7,382	7,139	6,671	6,132	5,656
	債務負担行為に基づく支出予定額		243	212	238	476	453
	公営企業債等繰入見込額		1,022	1,028	1,050	1,010	972
	組合等負担等見込額		125	103	131	141	204
	退職手当負担見込額		1,920	1,839	2,130	1,866	1,972
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
	充当可能基金		2,664	3,362	3,768	3,668	3,423
	充当可能特定歳入		819	683	667	635	605
	基準財政需要額算入見込額		6,596	6,405	6,064	5,692	5,325
(A) - (B)	将来負担比率の分子		613	▲ 130	▲ 278	▲ 370	▲ 97

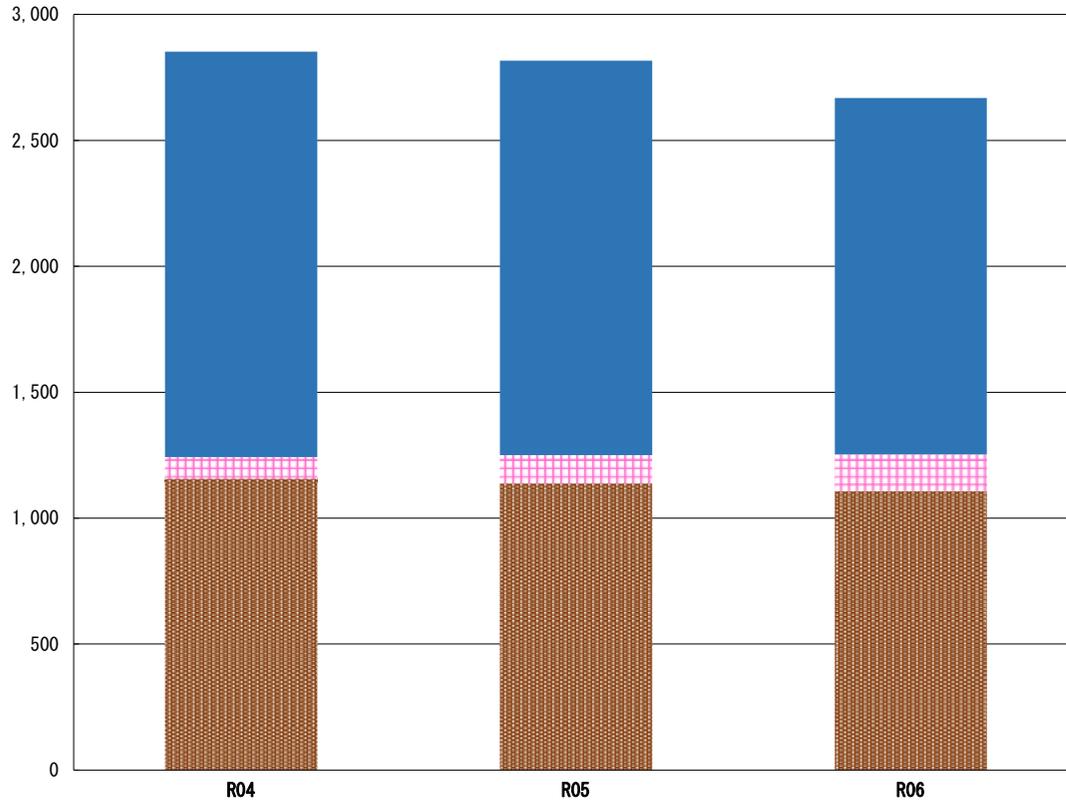
## 分析欄

将来負担比率は、地方債現在高が、大規模投資事業の償還完了や償還額以上の新規借入抑制の方針により減少していること、財政調整基金、社会福祉基金及び社会資本整備等基金など特定目的基金残高への積極的な積み立てにより令和3年度以降負数となっている。

今後、職員の退職者増加による退職手当負担見込額増加やインフラ更新や施設の長寿命化対策等地方債残高の増加が見込まれることから、地方債残高の抑制に努めつつ、財政調整基金や特定目的基金の計画的な積み立てを行い、将来世代への負担軽減に努める。

# (11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）

(百万円)



(百万円)

区分	年度	R04	R05	R06
財政調整基金		1,156	1,138	1,107
減債基金		86	112	146
その他特定目的基金		1,610	1,566	1,415
職員退職手当負担金支払準備基金		571	571	571
社会資本整備等基金		413	416	361
社会福祉基金		316	293	218
国営印旛沼二期土地改良事業負担金支払準備基金		138	138	139
鉄道施設整備基金		93	93	86
<b>基金残高合計</b>		<b>2,852</b>	<b>2,815</b>	<b>2,668</b>

令和6年度

千葉県栄町

## 基金全体

(増減理由)

普通交付税の追加交付や不用額等をもとに各基金へ積み立てしているもの、財政調整基金においては町税や税交付金など一般財源の増加が見込めず補正予算の財源としての取り崩しが増加しているほか、各特定目的基金においても事業費の増加から取崩しが多く、基金全体が減少している。

(今後の方針)

財政調整基金は、第5次総合計画の最終年度となる令和8年度において10億円の残高を目標としている。令和4年度末で目標に到達しているが、今後も標準財政規模に応じた基金規模を維持し、財政状況の変化等に対応できる持続可能な町政運営に努める。

各特定目的基金は、職員の退職者数増加による退職手当負担金、インフラ更新や施設の長寿命化対策、高齢化に伴う社会福祉など、今後も事業費の増加が見込まれることから、充当事業の推計等を踏まえ、計画的かつ積極的な積み立てを行い、適切な基金残高を確保に努める。

## 財政調整基金

(増減理由)

実質収支や普通交付税の追加交付をもとに財政調整基金への積み立てを行っているもの、町税の増加や税交付金などの一般財源の増加が見込めず補正予算時の財源とした基金の取り崩しにより残高は減少している。

(今後の方針)

社会経済情勢の変化に伴う新たな財政需要に即応できるよう積極的に積み立て、第5次総合計画（平成31年度～令和8年度）において財政調整基金残高10億円を目標としている。

## 減債基金

(増減理由)

令和6年度普通交付税の追加交付のうち、臨時財政対策償還基金費分を積み立てたことによる増加している。

(今後の方針)

普通交付税の追加交付分について、交付翌々年度に臨時財政対策償還経費として取り崩すものとしている。

## その他特定目的基金

(基金の用途)

職員退職手当負担金支払準備基金：将来的に増加が見込まれる職員退職手当市町村負担金の後年度負担の軽減を図る。

社会資本整備等基金：町民福祉の向上やまちづくりに必要な社会資本の整備等に要する財源を確保する。

社会福祉基金：社会福祉の増進及び高齢者の保険の向上に要する財源を確保する。

国営印旛沼二期土地改良事業負担金支払準備基金：国営印旛沼二期土地改良事業負担金の後年度負担の軽減を図る。

鉄道施設整備基金：交通の骨格をなす鉄道及びその駅舎並びに駅周辺の整備及び改修の財源を確保する。

(増減理由)

職員退職手当負担金支払準備基金：基金利子分を積み立て増加している。

社会資本整備等基金：インフラ更新など普通建設事業の財源として取り崩したことにより減少している。

社会福祉基金：社会福祉費や児童福祉費など各事業の財源として取り崩したことによる減少している。

国営印旛沼二期土地改良事業負担金支払準備基金：基金利子分を積み立て増加している。

鉄道施設整備基金：駅舎整備や駅バリアフリー化事業の財源として取り崩したことにより減少している。

(今後の方針)

職員退職手当負担金支払準備基金：職員の退職が多く見込まれることから、今後も適切に額を確保する。

社会資本整備等基金：老朽化による施設の更新、長寿命化など大規模な普通建設事業が見込まれるため、今後も適切に額を確保する。

社会福祉基金：高齢化の進展や子ども施策の拡充など増加が見込まれることから、今後も適切に額を確保する。

国営印旛沼二期土地改良事業負担金支払準備基金：今後実施される事業の進捗に応じて取り崩しを予定している。

鉄道施設整備基金：駅舎整備や駅バリアフリー化など大規模事業が見込まれることから、今後も適切に額を確保する。